

4. 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

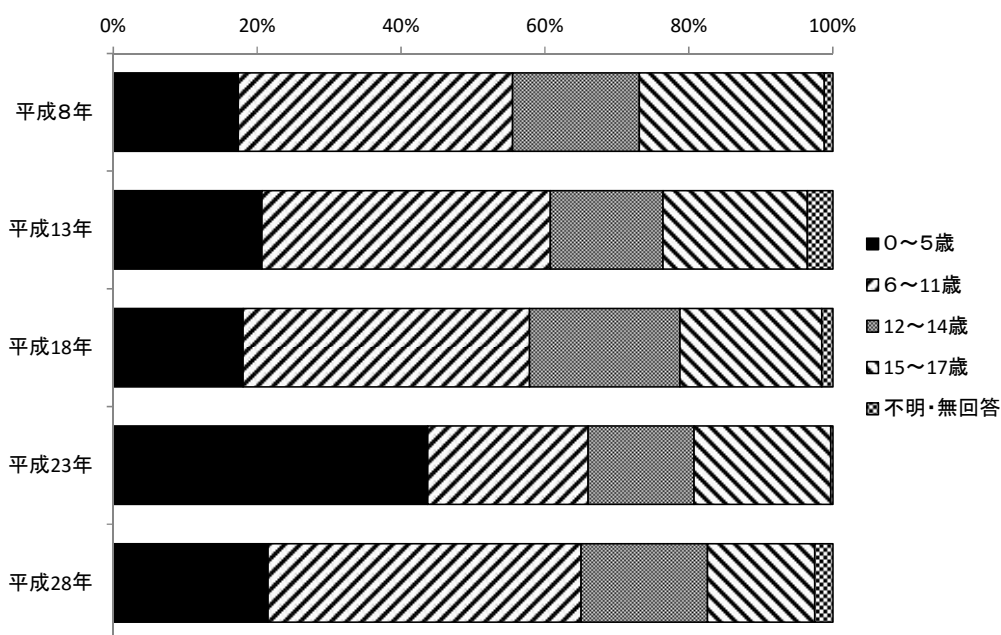
●年齢

年齢構成は、「0～5歳」が21.5%、「6～11歳」が43.5%、「12～14歳」が17.6%、「15～17歳」が14.9%となっている。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
0・1歳	0.7	0.7	0.6	0.9	0.2
2歳	3.0	2.0	2.6	6.7	0.5
3歳	4.4	4.2	2.6	9.8	5.9
4歳	3.9	6.4	6.5	15.9	7.8
5歳	5.4	7.4	5.7	10.4	7.1
6～11歳	38.1	40.1	39.8	22.3	43.5
12～14歳	17.6	15.7	20.9	14.7	17.6
15～17歳	25.7	20.1	19.7	19.0	14.9
不明・無回答	1.2	3.5	1.5	0.3	2.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408



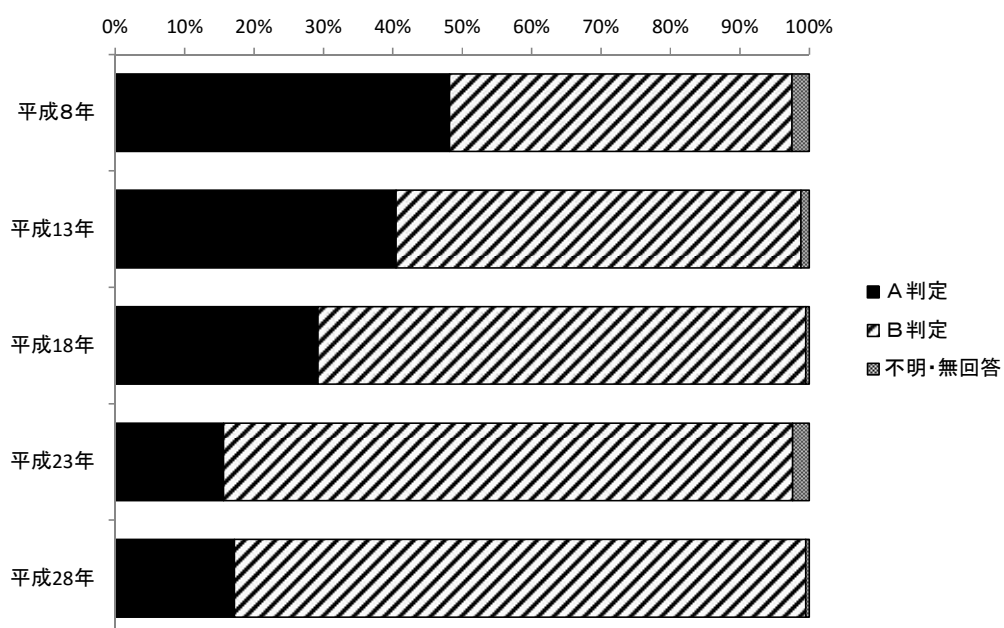
●障害の程度等

療育手帳の判定では、「A判定」が17.2%、「B判定」が82.4%となっている。

問5 療育手帳の判定

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
A判定	48.2	40.5	29.2	15.6	17.2
B判定	49.4	58.4	70.3	82.0	82.4
不明・無回答	2.5	1.2	0.5	2.4	0.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408

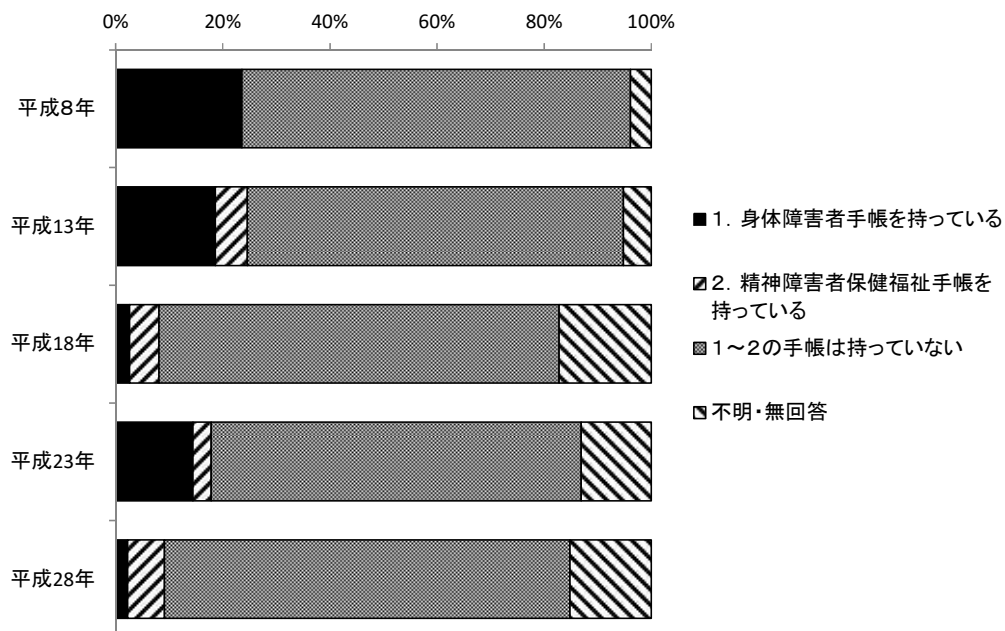


身体障害者手帳等の有無では、「身体障害者手帳を持っている」が2.2%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が6.9%となっている。

問7 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の有無

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1. 身体障害者手帳を持っている	23.6	18.6	2.6	14.4	2.2
2. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	-	6.0	5.5	3.4	6.9
1～2の手帳は持っていない	72.6	70.2	74.6	69.1	75.7
不明・無回答	3.9	5.2	17.2	13.1	15.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408



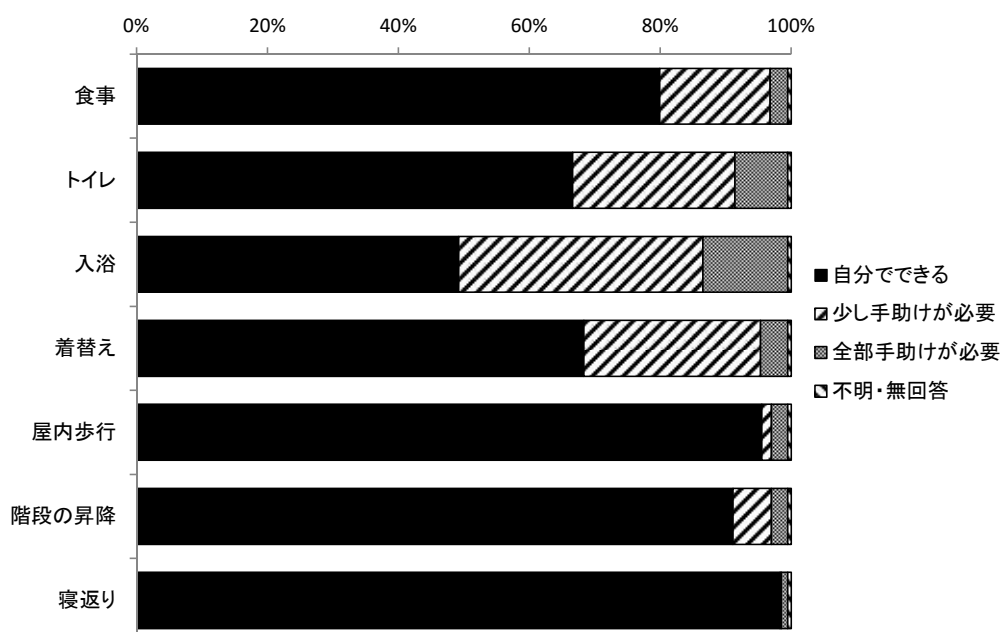
●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で“何らかの介助が必要”（少し手助けが必要＋全部手助けが必要）とする子どもの割合が高いものは、「入浴」で50.3%、次いで「トイレ」が32.9%、「着替え」が31.2%となっている。

問 1 2 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		寝返り	
自分ができる	79.9		66.7		49.3		68.4		95.6		91.2		98.3	
少し手助けが必要	16.9	19.6	24.8	32.9	37.3	50.3	27.0	31.2	1.5	4.0	5.9	8.4	0.2	1.2
全部手助けが必要	2.7		8.1		13.0		4.2		2.5		2.5		1.0	
不明・無回答	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	408		408		408		408		408		408		408	



主な介助者は、「母」が90.5%で最も多く、「父」と合わせると96.4%を占めている。

問13-1 主な介助者

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
父*1	96.1	3.6	5.9	6.0	5.9
母*1		92.2	90.2	92.0	90.5
祖父母	0.9	1.7	0.8	2.0	0.5
兄弟姉妹	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
その他の親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の人・知り合い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間有料介護者（家政婦など）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
ボランティア	-	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.2	1.4	0.4	0.0	0.0
入所施設、グループホーム等の職員*2	-	-	-	-	0.9
特にいない	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	1.5	1.1	2.0	0.0	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	332	357	255	50	222

*1 平成8年は「父」「母」を足した数値

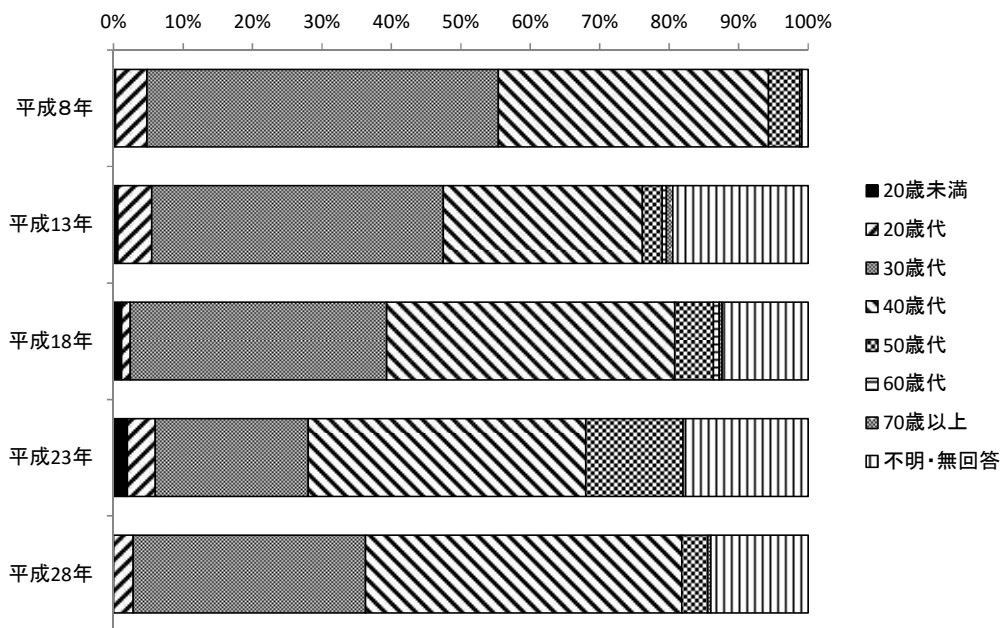
*2 平成28年追加項目

主な介助者の年齢は、「40歳代」が45.6%と最も多く、次いで「30歳代」が33.5%となっており、介助者の中心は30～40歳代であることがわかる。

問13-2-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
20歳未満	0.3	0.6	1.2	2.0	0.0
20歳代	4.5	4.9	1.2	4.0	2.8
30歳代	50.6	42.0	36.9	22.0	33.5
40歳代	38.9	28.7	41.4	40.0	45.6
50歳代	4.5	2.9	5.6	14.0	3.7
60歳代	0.3	0.6	0.8	0.0	0.0
70歳以上	0.0	0.9	0.4	0.0	0.5
不明・無回答	0.9	19.5	12.4	18.0	14.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	332	348	249	50	215



●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護）は、「必要がないので利用したことがない」が72.3%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が11.3%となっている。

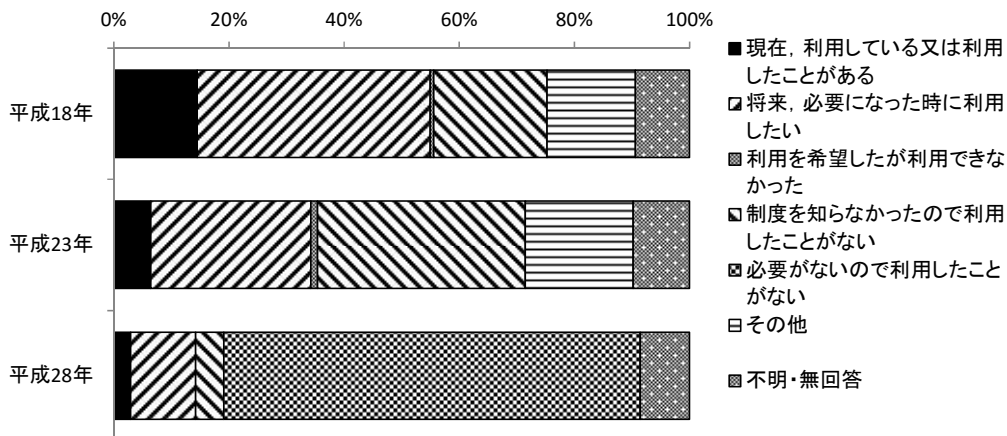
問14（1） ホームヘルプサービス（居宅介護）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	14.5	6.4	2.9
将来、必要になった時に利用したい	40.5	27.8	11.3
利用を希望したが利用できなかった	0.6	1.2	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	19.7	36.1	4.9
必要がないので利用したことがない*1	-	-	72.3
その他*2	15.4	18.7	-
不明・無回答	9.4	9.8	8.6
合計	100.0	100.0	100.0
n	650	327	408

*1 平成28年追加項目

*2 平成28年は項目なし



短期入所（ショートステイ）は、「必要がないので利用したことがない」が65.0%で最も多く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が17.6%となっている。

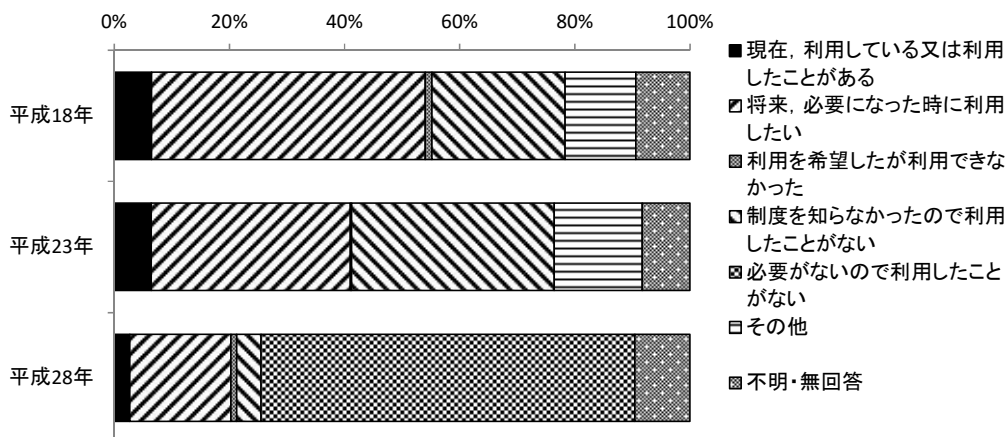
問14（2）短期入所（ショートステイ）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	6.5	6.4	2.7
将来、必要になった時に利用したい	47.5	34.6	17.6
利用を希望したが利用できなかった	1.2	0.3	1.0
制度を知らなかったので利用したことがない	23.1	35.2	4.2
必要がないので利用したことがない *1	-	-	65.0
その他*2	12.3	15.3	-
不明・無回答	9.4	8.3	9.6
合計	100.0	100.0	100.0
n	650	327	408

*1 平成28年追加項目

*2 平成28年は項目なし



障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）は、「現在、利用している又は利用したことがある」が62.3%で最も多く、次いで「必要がないので利用したことがない」が14.5%、「将来、必要になった時に利用したい」が14.2%となっている。

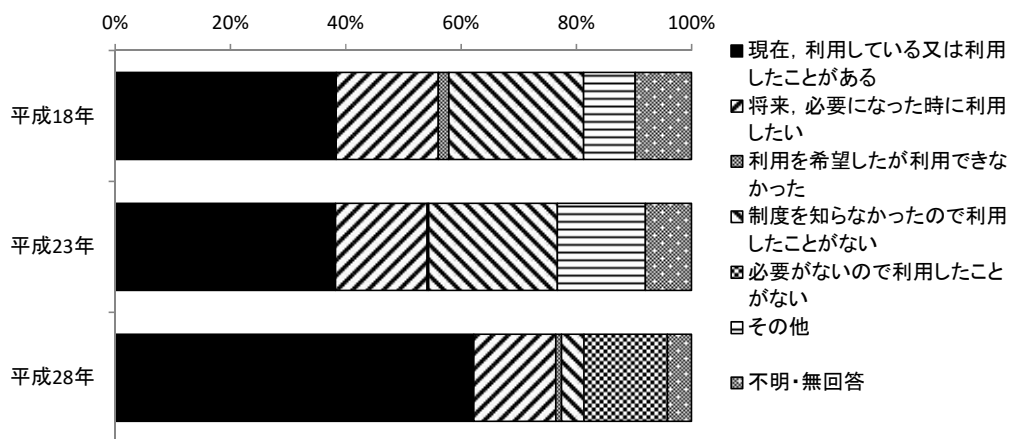
問14（3）障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	38.3	38.2	62.3
将来、必要になった時に利用したい	17.7	15.9	14.2
利用を希望したが利用できなかった	1.8	0.3	1.0
制度を知らなかったので利用したことがない	23.4	22.3	3.9
必要がないので利用したことがない*1	-	-	14.5
その他*2	8.9	15.3	-
不明・無回答	9.8	8.0	4.2
合計	100.0	100.0	100.0
n	650	327	408

*1 平成28年追加項目

*2 平成28年は項目なし



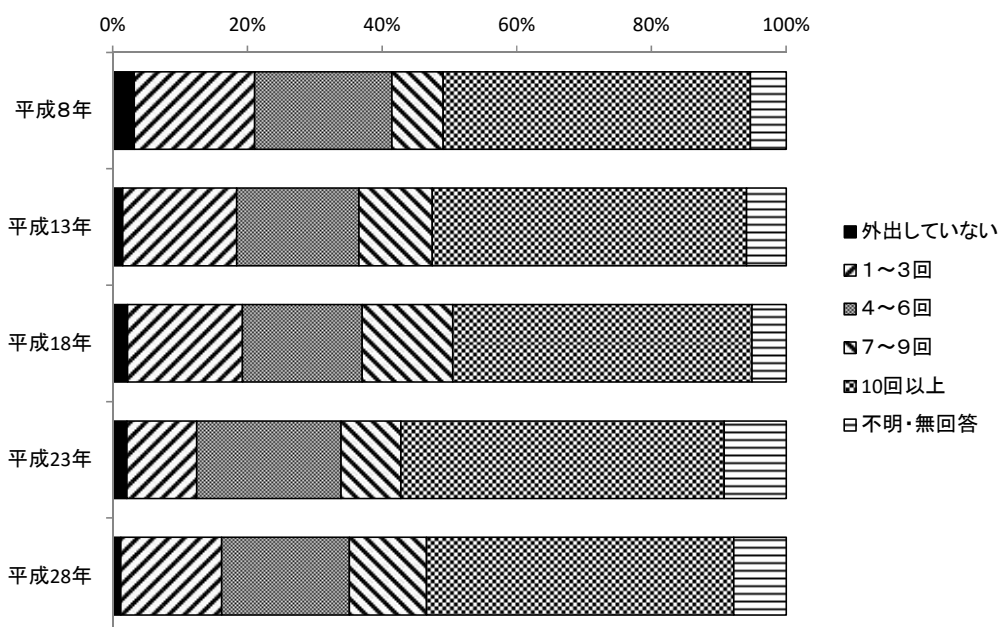
●外出の状況

外出回数（通学以外の場合）については、「月に10回以上」が45.6%と最も多く、次いで「月に4～6回」が18.9%となっている。

問18(2) 通学以外の場合の外出回数

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
外出していない	3.2	1.5	2.2	2.1	1.2
1～3回	17.9	16.9	17.1	10.4	15.0
4～6回	20.4	18.2	17.8	21.4	18.9
7～9回	7.6	10.9	13.4	8.9	11.5
10回以上	45.7	46.7	44.5	48.0	45.6
不明・無回答	5.3	5.9	5.1	9.2	7.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408



外出の際の問題点（複数回答）については、「車などに危険を感じる」が39.5%と最も多く、次いで「電車の遅れや急な停止、その他通常以外の事態が起こった時に、強い不安を感じたりパニックになったりする」が30.4%となっている。

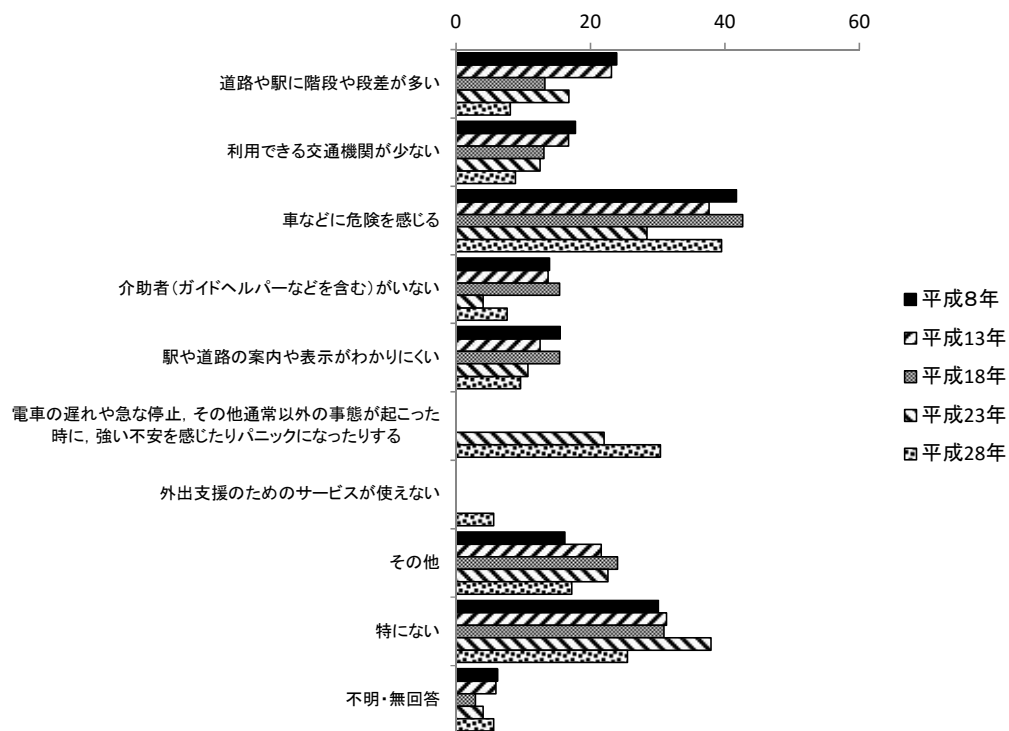
問20 外出の際の問題点（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
道路や駅に階段や段差が多い	23.9	23.1	13.2	16.8	8.1
利用できる交通機関が少ない	17.8	16.7	13.1	12.5	8.8
車などに危険を感じる	41.7	37.6	42.6	28.4	39.5
介助者（ガイドヘルパーなどを含む）がいない	13.9	13.7	15.4	4.0	7.6
駅や道路の案内や表示がわかりにくい	15.5	12.5	15.4	10.7	9.6
電車の遅れや急な停止、その他通常以外の事態が起こった時に、強い不安を感じたりパニックになったりする *1	-	-	-	22.0	30.4
外出支援のためのサービスが使えない *2	-	-	-	-	5.6
その他	16.2	21.6	24.0	22.6	17.2
特にない	30.1	31.3	30.9	37.9	25.5
不明・無回答	6.2	5.9	2.9	4.0	5.6
合計	165.3	162.4	157.5	158.9	157.9
n	569	598	650	327	408

*1 平成23年追加項目

*2 平成28年追加項目



●教育の状況

就学前教育（複数回答）については、「障害児通所支援施設」が58.0%と最も多く、次いで「保育所」が43.2%となっている。

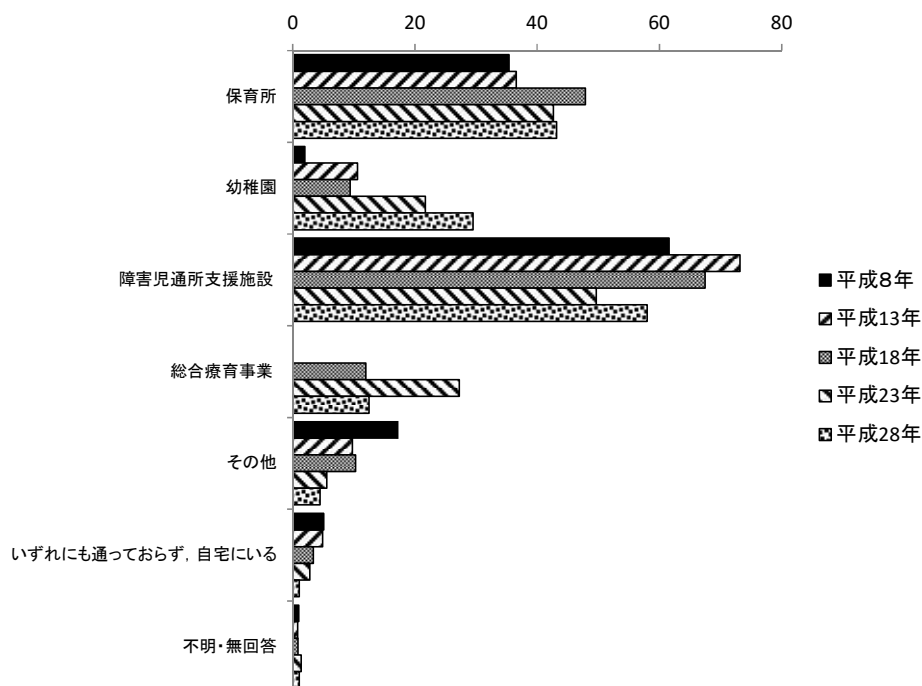
問 2 2 - 1 就学前教育の状況（複数回答 2 つまで）

（単位：％）

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
保育所	35.4	36.6	47.9	42.7	43.2
幼稚園	2.0	10.6	9.4	21.7	29.5
障害児通所支援施設 * 1	61.6	73.2	67.5	49.7	58.0
総合療育事業 * 2	-	-	12.0	27.3	12.5
その他	17.2	9.8	10.3	5.6	4.5
いずれにも通っておらず、自宅にいる	5.1	4.9	3.4	2.8	1.1
不明・無回答	1.0	0.8	0.9	1.4	1.1
合計	122.3	135.8	151.3	151.2	149.9
n	99	123	117	143	88

* 1 平成23年までは障害児通園施設

* 2 平成23年までは総合療育施設 平成18年以降追加項目



就学状況を小学校・中学校・高等学校別にみると、「小学校（部）」では、「普通学校【育成学級】」が61.0%、「普通学校【通常学級】」が27.9%、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が9.9%の順となっている。

「中学校（部）」では、「普通学校【育成学級】」が50.0%、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が25.8%、「普通学校【通常学級】」が24.2%の順となっている。

「高等学校（高等部）」では、「総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】」が86.8%、「普通学校」が11.3%の順となっている。

問 2 3 - 1 就学している学校

(小学校（部）)

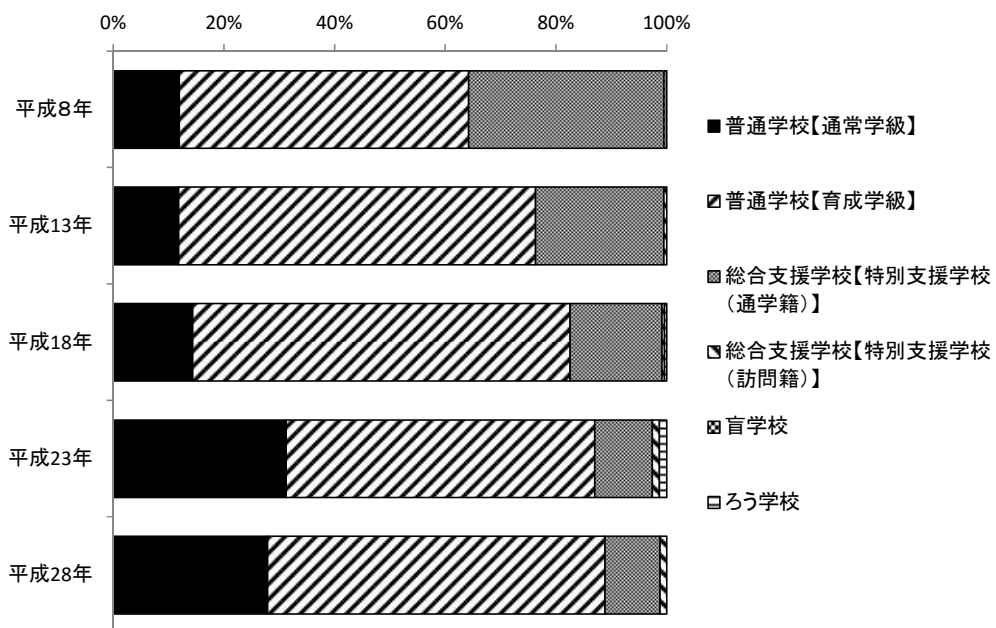
(単位：%)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
普通学校【通常学級】	11.9	11.8	14.4	31.2	27.9
普通学校【育成学級】*1	52.3	64.5	68.2	55.8	61.0
総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】*2	35.3	23.2	16.7	10.4	9.9
総合支援学校【特別支援学校（訪問籍）】*3	0.0	0.5	0.4	1.3	1.2
盲学校	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
ろう学校	0.0	0.0	0.4	1.3	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	218	211	264	77	172

*1 平成 8 年, 13 年, 23 年は「普通学校【特別支援学級】」

*2 平成 8 年, 13 年は「養護学校」

*3 平成 8 年, 13 年は「訪問教育」



問 2 3 - 1 就学している学校

(中学校 (部))

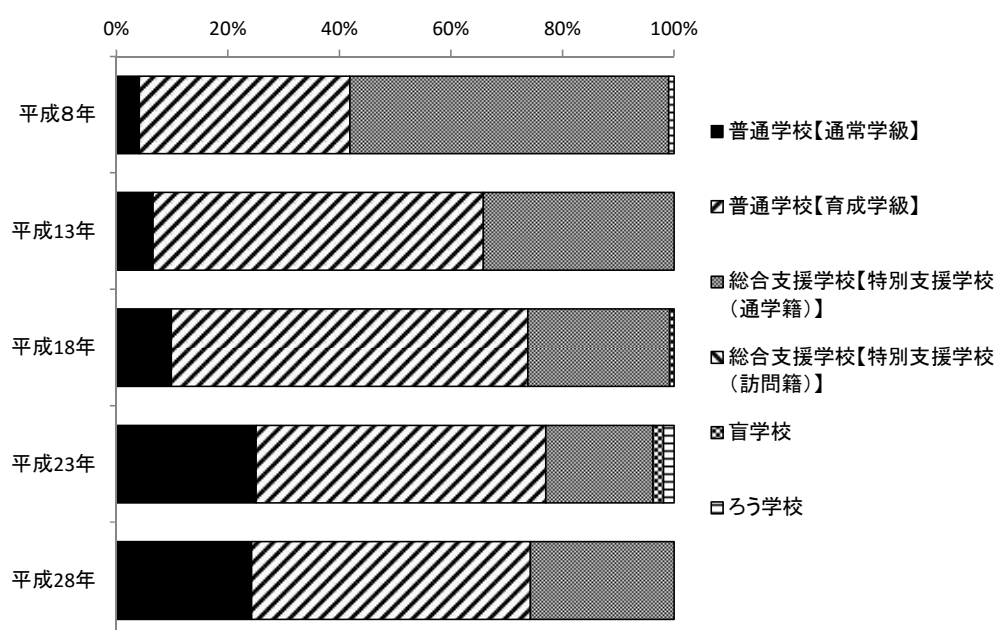
(単位 : %)

	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
普通学校【通常学級】	4.1	6.6	9.8	25.0	24.2
普通学校【育成学級】*1	37.7	59.2	63.9	51.9	50.0
総合支援学校【特別支援学校（通学籍）】*2	57.1	34.2	25.4	19.2	25.8
総合支援学校【特別支援学校（訪問籍）】*3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
盲学校	0.0	0.0	0.8	1.9	0.0
ろう学校	1.0	0.0	0.0	1.9	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	98	76	122	52	66

*1 平成 8 年, 13 年, 23 年は「普通学校【特別支援学級】」

*2 平成 8 年, 13 年は「養護学校」

*3 平成 8 年, 13 年は「訪問教育」



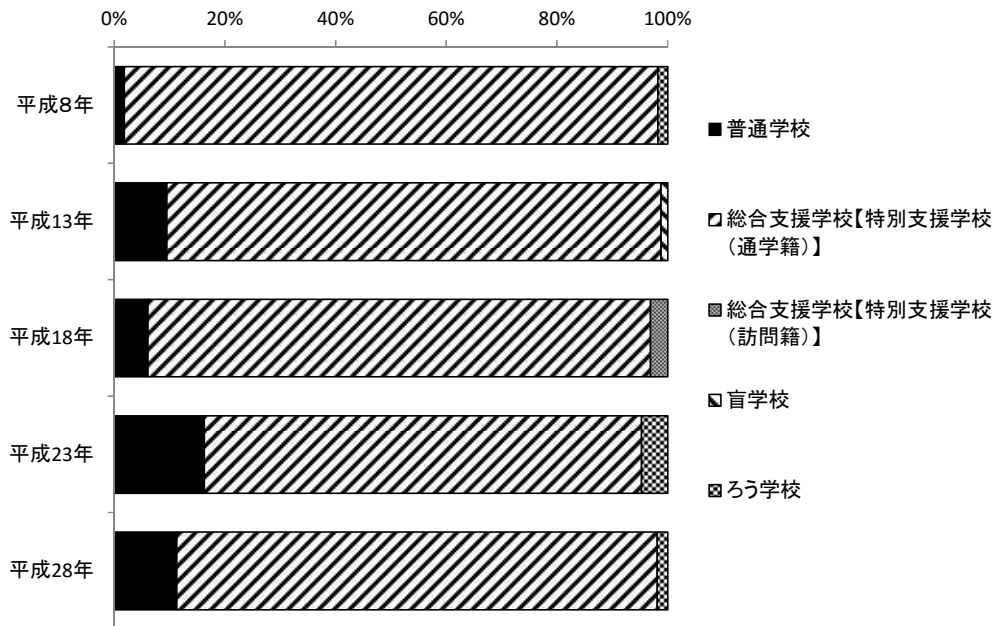
問23-1 就学している学校

(高等学校(高等部))

(単位: %)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
普通学校	1.8	9.5	6.1	16.3	11.3
総合支援学校【特別支援学校(通学籍)】*1	96.5	89.3	90.8	79.1	86.8
総合支援学校【特別支援学校(訪問籍)】*1			3.1	0.0	0.0
盲学校	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
ろう学校	1.8	0.0	0.0	4.7	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	113	84	98	43	53

*1 平成8年, 13年は「養護学校」

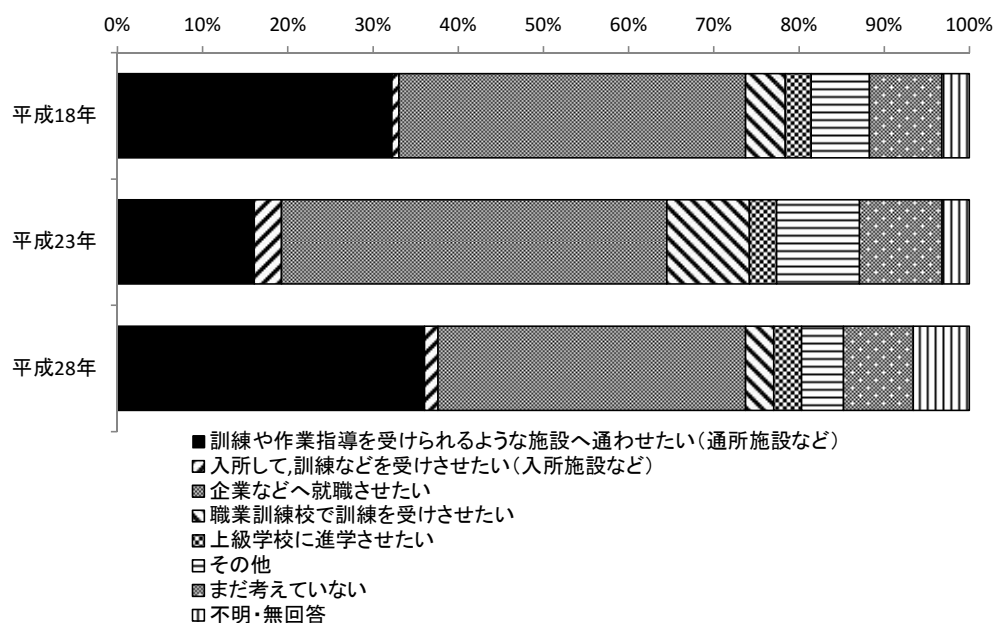


高等学校（高等部）卒業後の進路希望については、「訓練や作業指導を受けられるような施設へ通わせたい（通所施設など）」と「企業などへ就職させたい」が同率の36.1%と最も高くなっている。

問 2 3 - 2 卒業後の進路希望

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
訓練や作業指導を受けられるような施設へ通わせたい（通所施設など）	32.8	16.1	36.1
入所して、訓練を受けさせたい（入所施設など）	0.8	3.2	1.6
企業などへ就職させたい	41.4	45.2	36.1
職業訓練校で訓練を受けさせたい	4.7	9.7	3.3
上級学校に進学させたい	3.1	3.2	3.3
その他	7.0	9.7	4.9
まだ考えていない	8.6	9.7	8.2
不明・無回答	3.3	3.2	6.6
合計	100.0	100.0	100.0
n	128	62	61



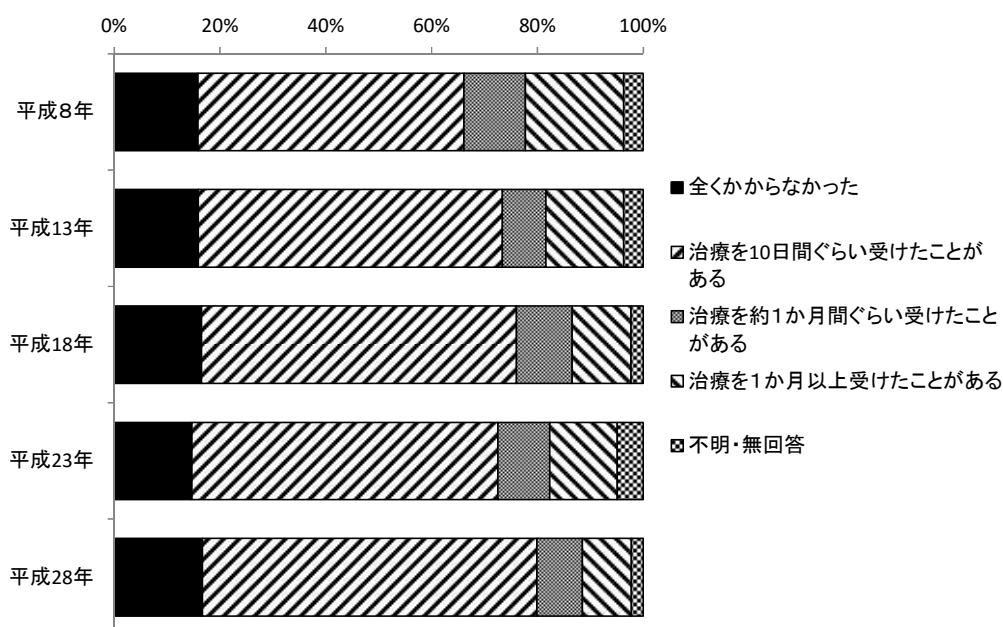
●健康・医療などの状況

過去1年間の治療状況については、「治療を10日間ぐらい受けたことがある」が63.2%で最も多く、次いで「全くかからなかった」が16.7%となっている。

問24 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
全くかからなかった	15.8	15.9	16.5	14.7	16.7
治療を10日間ぐらい受けたことがある	50.3	57.5	59.5	57.8	63.2
治療を約1か月間ぐらい受けたことがある	11.6	8.2	10.6	9.8	8.6
治療を1か月以上受けたことがある	18.6	14.7	11.1	12.8	9.3
不明・無回答	3.7	3.7	2.3	4.9	2.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408

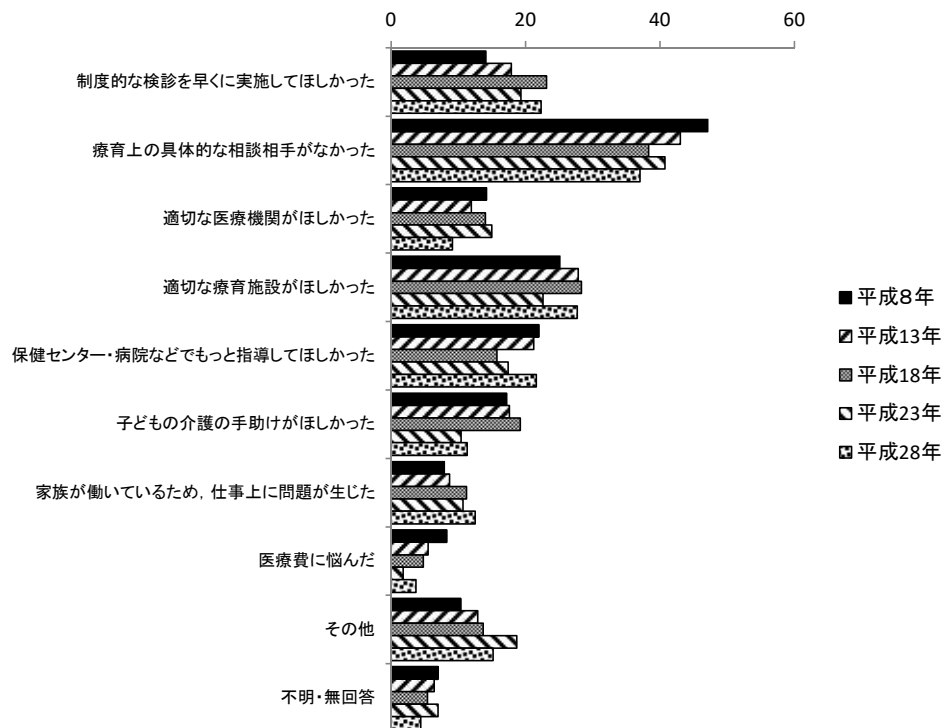


障害判定時の悩み（複数回答）については、「療育上の具体的な相談相手がなかった」が37.0%で最も多く、「適切な療育施設がほしかった」が27.7%となっている。

問28 障害判定時の悩み（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
制度的な検診を早くに実施してほしかった	14.1	17.9	23.1	19.3	22.3
療育上の具体的な相談相手がなかった	47.1	43.0	38.3	40.7	37.0
適切な医療機関がほしかった	14.2	11.9	14.0	15.0	9.1
適切な療育施設がほしかった	25.1	27.8	28.3	22.6	27.7
保健センター・病院などでもっと指導してほしかった	22.0	21.2	15.7	17.4	21.6
子どもの介護の手助けがほしかった	17.2	17.6	19.2	10.4	11.3
家族が働いているため、仕事上に問題が生じた	7.9	8.7	11.2	10.7	12.5
医療費に悩んだ	8.3	5.5	4.8	1.8	3.7
その他	10.4	12.9	13.7	18.7	15.2
不明・無回答	7.0	6.4	5.4	7.0	4.4
合計	173.3	172.7	173.7	163.6	164.8
n	562	598	650	327	408



●災害時の対応

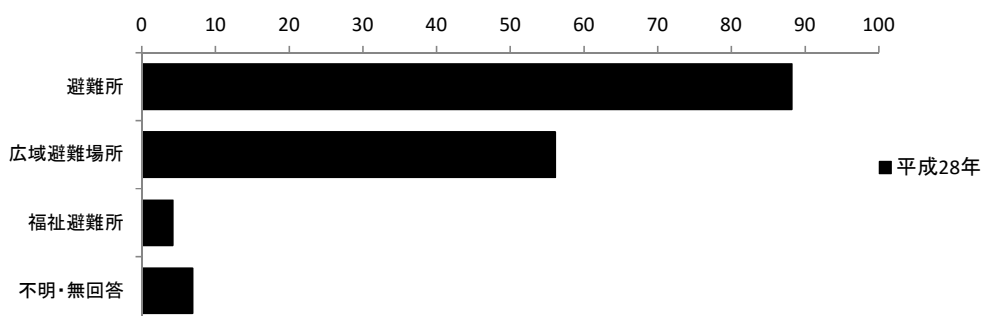
避難場所の認知（複数回答）については、「避難所」が88.2%で最も多く、次いで「広域避難場所」が56.1%、「福祉避難所」が4.2%となっている。

問30 避難場所の認知（複数回答）*

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	35.1	36.3	38.2	47.1	-
「一時避難場所」だけ知っている	19.7	15.9	17.4	17.7	-
「広域避難場所」だけ知っている	23.7	20.7	17.5	15.0	-
両方とも知らない	18.3	25.3	24.8	18.7	-
避難所	-	-	-	-	88.2
広域避難場所	-	-	-	-	56.1
福祉避難所	-	-	-	-	4.2
不明・無回答	3.2	1.8	2.2	1.5	6.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	155.4
n	569	598	650	327	408

* 平成23年までは単数回答

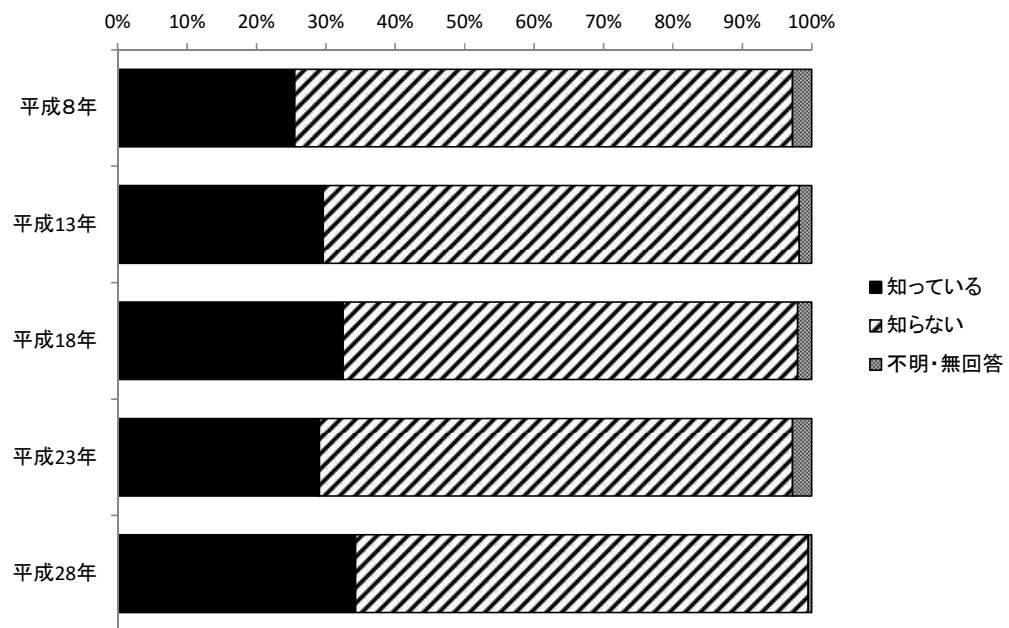


自主防災組織の認知については、「知っている」が34.3%、「知らない」が65.2%となっている。

問3 2 自主防災組織の認知

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
知っている	25.5	29.6	32.5	29.1	34.3
知らない	71.7	68.6	65.5	68.2	65.2
不明・無回答	2.8	1.8	2.0	2.8	0.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408

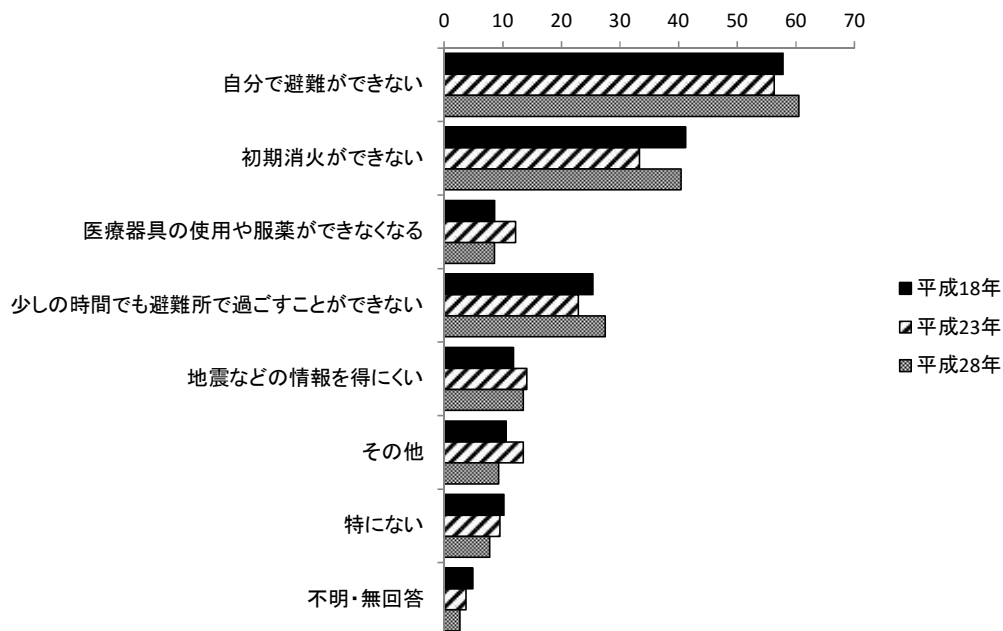


災害時の不安（複数回答）については、「自分で避難ができない」が60.5%で最も多く、次いで「初期消火ができない」が40.4%と続いている。

問3 4 災害時の不安（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
自分で避難ができない	57.8	56.3	60.5
初期消火ができない	41.2	33.3	40.4
医療器具の使用や服薬ができなくなる	8.6	12.2	8.6
少しの時間でも避難所で過ごすことができない	25.4	22.9	27.5
地震などの情報を得にくい	11.8	14.1	13.5
その他	10.6	13.5	9.3
特にない	10.2	9.5	7.8
不明・無回答	4.9	3.7	2.7
合計	170.6	165.5	170.3
n	650	327	408



●福祉施策への要望など

福祉施策への要望（複数回答）については、「障害のある人が働けるところがほしい」が58.1%と最も多く、次いで「社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい」が52.2%となっている。

問 4 1 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
専門的な機能回復訓練を受けたい	15.6	14.9	12.9	19.9	19.6
医師、専門職員などによる訪問指導（療育など）を受けたい	14.9	15.6	17.2	19.6	23.0
医療費を安くし、診察を受けやすいようにしてほしい	15.1	15.7	20.2	16.5	14.0
障害のある人の医療制度を広げてほしい	29.2	21.4	24.9	17.1	17.4
日常生活の中で、介助者をもっと増やしてほしい	26.4	18.9	12.2	6.1	12.0
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい *1	-	-	17.2	13.5	22.3
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい *2	-	21.9	30.0	16.2	-
障害の状況に応じた職業訓練を受けたい	44.3	33.8	44.9	32.1	37.0
障害のある人が働けるところがほしい	63.3	52.0	60.9	43.1	58.1
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金・手当を増やしてほしい	46.0	40.5	54.0	41.9	34.6
社会が、障害のある人に理解と関心をもってほしい	67.7	58.7	55.5	50.2	52.2
法律や結婚などについて相談にのってほしい	6.0	5.9	5.1	6.7	5.1
道路・公園や建物、乗りものなどを障害のある人が利用しやすいようにしてほしい	28.5	19.1	14.8	15.3	12.7
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	19.0	15.2	16.8	11.9	12.0
公共交通機関の利用のしやすさ *3	43.4	26.6	-	-	-
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい *4	-	32.6	32.0	22.9	22.5
障害のある人の家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい *4	-	33.1	22.0	21.4	16.9
障害のある児童が入所・通所により日常生活の指導及び知識技能を学ぶ施設の整備を進めてほしい *5	-	-	-	42.8	-
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい *6	-	-	-	-	4.9
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい *6	-	-	-	-	18.9
障害のある人に配慮した住まい（公営住宅等）がほしい *6	-	-	-	-	20.3
その他	6.0	5.5	5.7	4.6	5.1
不明・無回答	4.6	4.5	2.9	4.3	4.7
合計	430.0	435.8	449.2	406.1	413.3
n	569	598	650	327	408

*1 平成18年以降追加項目

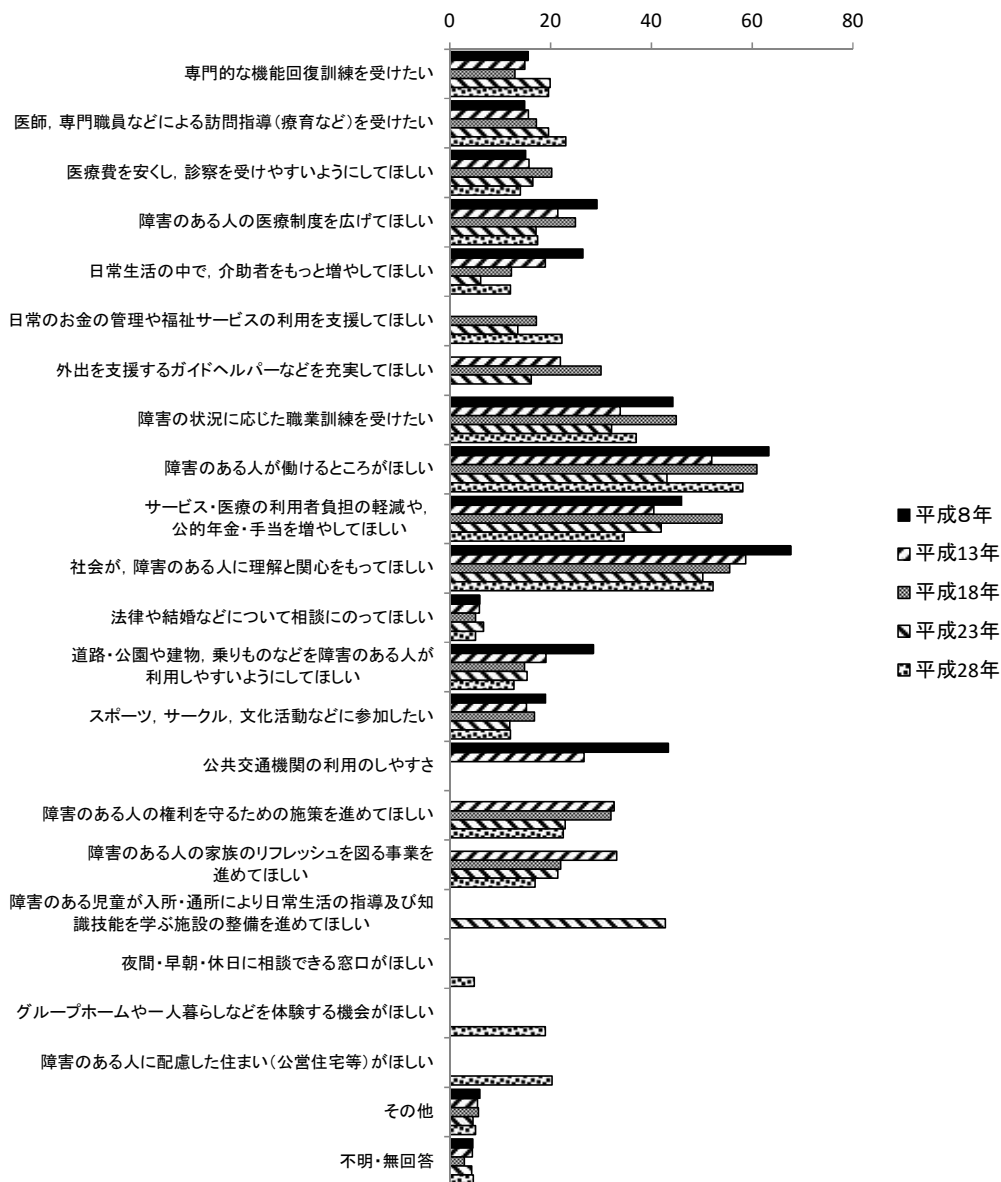
*2 平成13年～平成23年のみ追加項目

*3 平成18年以降削除項目

*4 平成13年以降追加項目

*5 平成23年のみ追加項目

*6 平成28年追加項目



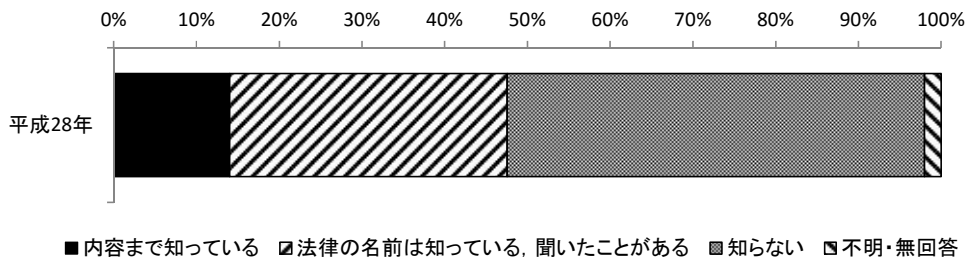
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が50.5%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が33.6%、「内容まで知っている」が14.0%となっている。

問 4 2 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成 28 年
内容まで知っている	14.0
法律の名前は知っている、聞いたことがある	33.6
知らない	50.5
不明・無回答	2.0
合計	100.0
n	408



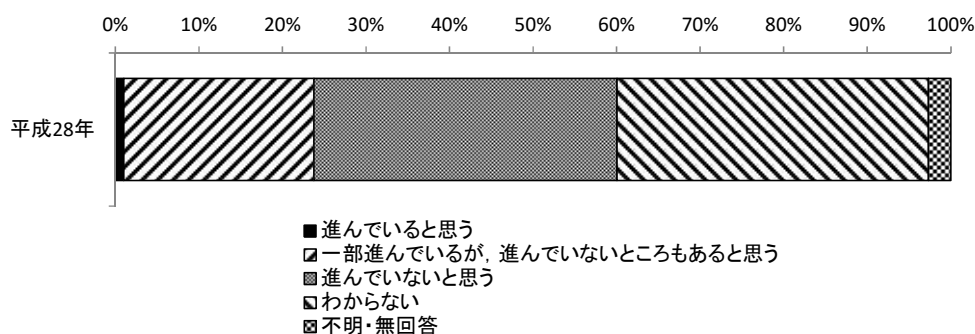
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が37.3%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が36.3%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が22.8%、「進んでいると思う」が1.0%となっている。

問43-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	22.8
進んでいないと思う	36.3
わからない	37.3
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	408

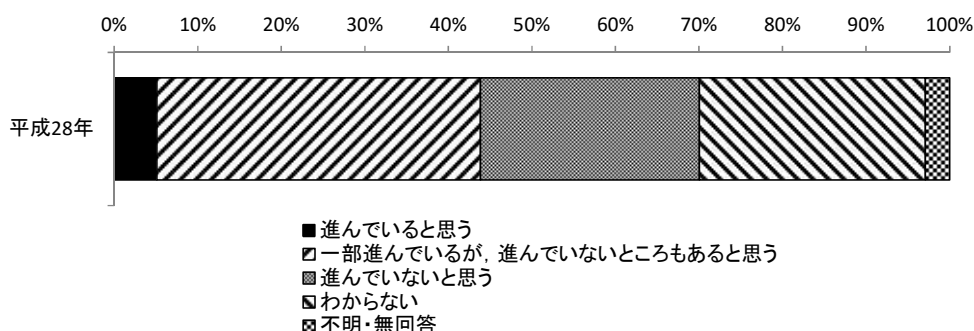


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が38.7%で最も高く、次いで「わからない」が27.0%、「進んでいないと思う」が26.2%、「進んでいると思う」が5.1%となっている。

問43-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.1
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	38.7
進んでいないと思う	26.2
わからない	27.0
不明・無回答	2.9
合計	100.0
n	408

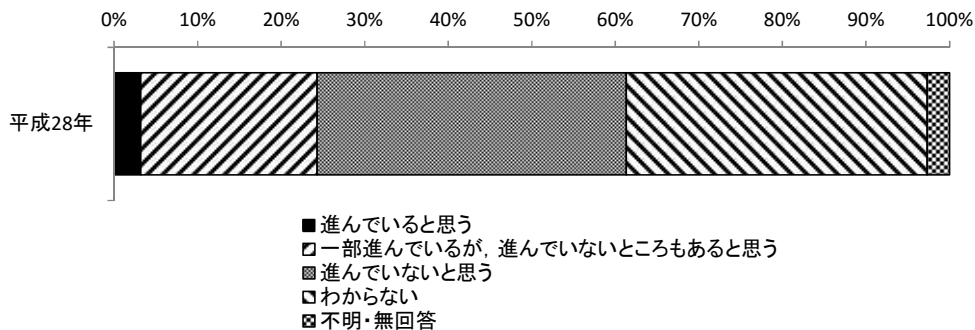


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「進んでいないと思う」が37.0%で最も多く、次いで「わからない」が36.0%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が21.1%、「進んでいると思う」が3.2%となっている。

問43-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.2
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	21.1
進んでいないと思う	37.0
わからない	36.0
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	408

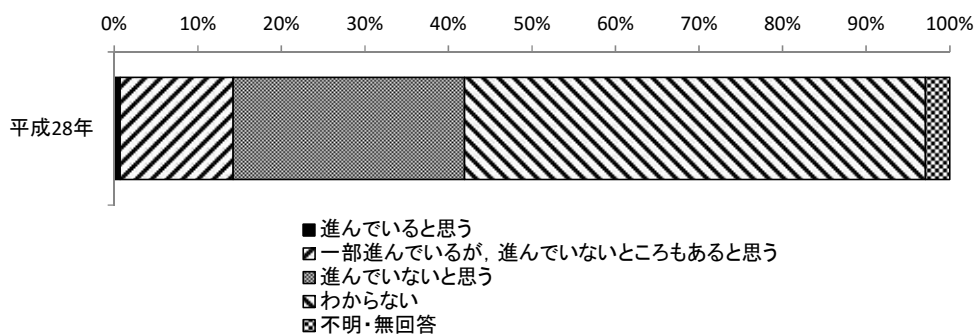


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が55.1%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が27.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が13.5%、「進んでいると思う」が0.7%となっている。

問43-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	0.7
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	13.5
進んでいないと思う	27.7
わからない	55.1
不明・無回答	2.9
合計	100.0
n	408

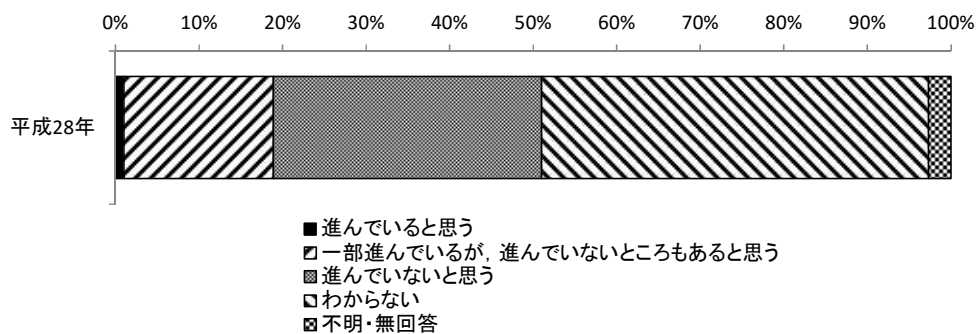


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が46.3%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が32.1%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が17.9%、「進んでいると思う」が1.0%となっている。

問43-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	17.9
進んでいないと思う	32.1
わからない	46.3
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	408



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「進んでいないと思う」が33.8%で最も多く、次いで「わからない」が33.3%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が28.4%、「進んでいると思う」が1.7%となっている。

問43-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.7
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	28.4
進んでいないと思う	33.8
わからない	33.3
不明・無回答	2.7
合計	100.0
n	408

